

自動車熱交換器用板材販売会社「アフセル社」設立 Establishment of a Sales Company for Automobile Heat Exchangers Sheet Material AFSEL S.A.

当社は、バルカン地域最大の鉄鋼・非鉄金属総合メーカーであるピオハルコ社 (VIOHALCO S.A., 資本金: 4億7千万ユーロ, ニコラス・スタシノポーラス会長) グループのアルミニウム圧延会社エルバル社 (Hellenic Aluminum Industry S.A., 資本金: 3千7百万ユーロ, ランプロス・D. バルーハス社長) と共同で事業を進めることとし、ギリシア共和国に合弁で自動車熱交換器用板材の販売会社を設立することで合意し2006年12月7日に協定書に調印しました。

欧州地域においては、今後自動車需要の増大が予想されています。当社は自動車熱交換器用板材事業へ積極的に対応するため、当販売会社を通じて営業活動を強化する体制を構築します。これにより、日系ユーザーへのグローバルな対応と欧州地域での顧客開拓を図ります。

新会社の概要は次のとおりです。

<新会社の概要>

会社名: アフセル社 (AFSEL S.A.)
 設立: 2007年2月
 本社: ギリシア アテネ市近郊エルバル社イノ
 フィタ工場内
 資本金: 18万ユーロ
 出資比率: 古河スカイ(株)50% エルバル社50%
 社長: 伊藤孝英 (古河スカイ(株)顧問)
 事業内容: 欧州地域を主体とする自動車熱交換器用板
 材の販売およびマーケティング
 売上: 約4千万ユーロ(約60億円)/年(2010年目標)

(注) S.A. は日本の株式会社に対応。



吉原社長とピオハルコ社ニコラス・スタシノポーラス会長
 Mr. M. Yoshihara (President of Furukawa-Sky Aluminum
 Corp.) and Mr. N. M. Stasinopoulos (Chairman of
 VIOHALCO S.A.).



アフセル社 伊藤社長
 Mr. T. Itoh (President of AFSEL S.A.).